



## 最優秀賞

### 兵庫県遊技業協同組合 「地域の安全・安心をまもる セーフコミュニティづくりサポート」事業



兵庫県遊技業協同組合  
理事長  
米田義一さん

#### 選考理由

社会貢献活動審査委員会  
委員  
野口昇氏



兵庫県遊技業協同組合の「地域の安全・安心をまもるセーフコミュニティづくりサポート事業」は、多方面にわたる模範的な社会貢献活動として評価された。「地域社会との共生」を理念に、組合が一体となった防犯活動を展開。県への寄付金の贈呈、110番協力店制度の強化、街頭パレードへの組合員の参加などのほか、青少年の健全育成を目指した柔道・剣道や少年野球大会への支援を行った。110番協力店の活動では、各ホールに防犯・安全マニュアルなどを配布。組合員の意識向上ときめ細かい防犯・安全活動が特筆に値する。

## 安全・安心ステーションとして 犯罪や事故から地域を守る

### 暴力団追放の旗振り役として 長い歴史と実績を持つ兵遊協

パチンコホールは犯罪や事故が発生しやすい繁華街や幹線道路沿いに立地していることが多く、また従業員が必ずいるうえ、夜間まで明るく開いているなどの条件を備えている。これは見方を変えると、犯罪被害者や事故遭遇者、あるいは保護を求める人にとっての避難場所としての役割を担えるということでもある。さらに電光掲示板や防犯カメラを備えたホールも多いため、情報の発信や収集といった意味でも機能できるし、広い駐車場を持つホールは震災時の住民の避難場所としても活用できる。いわばホールは、「地域の安全・安心に貢献できるステーション」としての機能を持っていると言えるだろう。

そうしたホールの諸条件を社会貢献活動に巧みに取り入れているのが、兵庫県遊技業協同組合(以下、兵遊協)の「地域の安全・安心をまもるセーフコミュニティづくりサポート」事業である。さまざまな活動によって構成されている同事業だが、中心的なものとしては以下のものがある。

まず、昭和30年代から取り組んでいるのが、遊技業界の大命題とも言える暴力団排除活動である。兵庫県は日本最大の広域暴力団組織の本拠地があるところで、ここでの排除活動の成否が遊技業界全体に与える影響は計り知れないため、先人たちは警察や世論の支援・支持を得て、文字通り、命を賭した活動を繰り返してきた。いまでも、その先駆者としての高い意識は変わらない。現在、兵遊協では、県下全ホールで「不当要求防止責任者」を選任し、組合一体となった暴力団対策を行ったり、県下で暴力団追放事業を展開する「公益財団法人暴力団追放兵庫県民センター」に財政支援を行い、昨年は活動運営費として400万円を寄贈するなどしている(財政支援は1999年度から継続中)。今後も関係機関・団体と緊密な連携をとりながら、暴追キャンペーンや広報啓発活動を積極的に推進していくという。



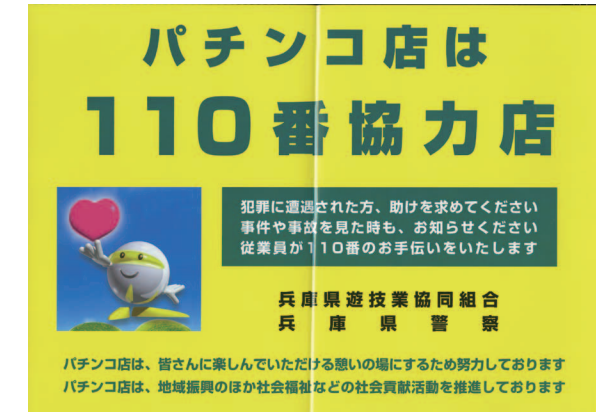
ホール電光掲示板とのぼり旗で「パチンコ店は110番協力店」を告知



地域安全街頭パレードに参加

### 地域安全活動に率先して取り組む 「パチンコ店は110番協力店」制度

地域安全対策活動として、行政、警察、防犯団体、一般市民などから高く評価されているのが、兵遊協発案の「パチンコ店は110番協力店」制度である。これは女性や子どもが被害者となる犯罪が増加し、地域ぐるみの防犯・安全対策が強く求められていた状況を背景に、2006年8月に発足させた制度で、犯罪被害者の保護、事件・事故認知時の110番通報、危険箇所発見時の警察への通報などの活動を行うものである。兵遊協では活動マニュアル、店頭表示シール、のぼり旗などを制作し、各ホールに配布して活動に取り組んできたが、現在では、兵庫県警察本部による「子どもを守る110番の家・店」制度とも連携しながら、制度の拡充を進めている。実際、ホールそばの路上で意識不明になった女性の救助、交通事故の通報など具体的な成果をあげている。この制度は、兵庫県が実施している「地域安全まちづくり条例」(2006年施行)にも貢献するもので、同条例の推進協議会への運営資金



「パチンコ店は110番協力店」をホール店頭に掲示



地域安全県民大会へ参加

支援(昨年度100万円、2007年度から継続)などと併せ、今後も地域住民の安全・安心確保に寄与していくものと期待されている。

このほかにも、兵遊協ではホールにおける防犯体制として「事業所防犯責任者」を選任・登録して、ホール来店客による子ども車内放置事故の未然防止などへの取り組み、「事業所等防犯ネットワーク」へ加盟し、犯罪情報の把握・周知などの徹底、スポーツを通じた青少年の健全育成・非行防止活動として、「兵庫県警察少年柔道・剣道大会」や少年野球の「はあ〜とふる杯争奪リーグ戦大会」の支援などを行っている。

こうしたさまざまな活動は、兵遊協内に置かれた「防犯広報委員会」や「福祉委員会」などが中心となり、体系的で一貫性のあるものとして実施されているのも大きな特徴である。組合員全員による情報の共有化、新聞・テレビ・ラジオなどのマスメディアを活用した広報活動を含め、遊技業界全体として、まさに模範とすべき点が多々ある社会貢献活動である。